

第 3 2 期

決 算 報 告 書

令和 4年10月 1日から

令和 5年 9月30日まで

株 式 会 社 北 前 館

(法人番号:1140001056167)



Y87481

貸借対照表

商号 株式会社 北前館

代表者 太田垣 健作

令和 5年 9月30日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産	(37,523,118)	I 流 動 負 債	(11,295,961)
金 及 び 預 金	35,858,439	買 掛 金	115,829
掛 資 産	535,071	1年以内返済長期借入金	5,328,000
卸 払 資 産	1,122,062	未 払 法 人 税 等 金	3,469,380
前 払 費 用	15,660	未 払 消 費 税 等 金	211,000
仮 払 金	22,183	未 払 金	990,800
倒 引 当 金	30,297	一 括 未 払 金	154,872
	△ 30,297		1,026,080
		II 固 定 負 債	(47,344,000)
II 固 定 資 産	(2,049,489)	長 期 借 入 金	47,344,000
形 固 定 資 産	(2,036,489)		
建 築 物	609,227		
車 両	20,919		
工 具、器 具 及 び 備 品	1		
一 括 償 却 資 産	258,645		
	121,617		
	1,026,080		
無 形 固 定 資 産	(0)		
投 資 其 他 の 資 産	(13,000)		
出 資	13,000		
III 繰 延 資 産	(0)		
		負債の部合計	58,639,961
		(純 資 産 の 部)	
		I 株 主 資 本	(-19,067,354)
		1. 資 本 金	25,000,000
		2. 資 本 剰 余 金	(0)
		3. 利 益 剰 余 金	(△ 44,067,354)
		(1)利 益 準 備 金	800,000
		(2)そ の 他 利 益 剰 余 金	(-44,867,354)
		繰 越 利 益 剰 余 金	△ 44,867,354
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	(0)
		III 新 株 予 約 権	(0)
		純 資 産 の 部 合 計	-19,067,354
資 産 の 部 合 計	39,572,607	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	39,572,607



損益計算書

令和 4年10月 1日から
令和 5年 9月30日まで

商号 株式会社 北前館

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売上高	49,834,111	49,834,111	49,834,111
II 売上原価	5,449,640	422,152 5,449,640	5,417,573
III 売上費及び一般管理費		5,871,792 454,219	44,416,538
IV 営業外収益		42,804,624	42,804,624
V 営業外費用			1,611,914
VI 経常利益		867 400	1,267
VII 特別利益		260,528	260,528
VIII 特別損失			1,352,653
IX 税引前当期純利益		0	0
X 法人税、住民税及び事業税		0	0
XI 当期純利益		211,000	1,141,653



販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 4年10月 1日から
令和 5年 9月30日まで

(単位：円)

科 目	金 額
販売員給与	12,482,193
販売員雑給	1,515,406
広告宣伝費	291,314
発送配達費	7,986
役員報酬	840,000
法定福利費	1,357,364
厚生借入費	150,628
減価償却費	665,380
賃借料	411,376
修繕費	443,034
事務用品費	107,219
通信費	1,018,609
水道光熱費	14,914,060
租税公課	1,921,000
会費負担金	498,910
接待交際費	15,212
保険料	487,128
備品消耗品費	1,508,240
支払手数料	2,867,400
車両費	132,200
リ倒ス費	478,214
貸倒償却費	27,297
雑費	664,454
合 計	42,804,624

棚卸資産の計算内訳

令和 5年 9月30日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商 品	454,219
貯 蔵 品	667,843
合 計	1,122,062

株主資本等変動計算書

商号 株式会社 北前館

令和4年10月1日から 令和5年9月30日まで

(単位：円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計	評価・ 換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本剰余金		利益剰余金			資本剰余金						
	資本 金	資本 準備金	資本 準備金	その他 利益剰余金	利益 準備金	その他 利益剰余金	資本 準備金					
当期首残高	25,000,000	0	0	0	800,000	-46,009,007	0	-20,209,007	0	0	-20,209,007	
当期変動額												
当期純利益						1,141,653		1,141,653			1,141,653	
当期変動額合計	0	0	0	0	0	1,141,653	0	1,141,653	0	0	1,141,653	
当期末残高	25,000,000	0	0	0	800,000	-44,867,354	0	-19,067,354	0	0	-19,067,354	

個別注記表

令和 4年10月 1日から

令和 5年 9月30日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

定額法又は旧定額法を採用しております。

なお、一括償却資産については、3年均等償却を採用しております。

(2)無形固定資産

定額法又は旧定額法を採用しております。

(3)リース資産

定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

18,868,367円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数

500株

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、-38,134.70円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、2,283.30円であります。

以上

監査報告書

1 監査対象期間（第32期）

自 令和4年10月1日

至 令和5年9月30日

2 監査概要

私たち監査役は、株式会社北前館の第32期の営業年度における経営状況について、令和5年10月16日代表取締役太田垣健作より提出された貸借対照表、損益計算書及び収支証拠書類、並びにこれらに付帯する関係補助簿について照合精査いたしました。なお、この度の監査において監査場所は株式会社北前館、監査立会人は、代表取締役太田垣健作でした。

3 監査結果

- (1) 会計全般にわたり、関係帳簿と照合精査した結果、会計帳簿の記載金額と一致し財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、株式会社北前館の会計状況を正しく表示していると認めます。
- (2) 取締役の職務遂行に関する不正行為、又は定款に違反する事実はないと認めます。

4 監査意見

私たち監査役は、毎月の役員会に出席して取締役の経営検討執行状況を確認するほか、日頃より従業員の勤務状況等も注視してきました。


前期に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響と世界情勢の激変による原油高騰に伴う電気料金等の値上げにより、厳しい経営となりました。

温泉部門における夏季繁忙期でのサウナの休止や、入浴時間の短縮など、コロナ禍で制限される経営を余儀なくされましたが、ポイントカードや風呂の日の設定を増やすなど、販売にも工夫を施され、併せて夏季トップシーズンの好天にも恵まれ、多くの来館者で賑わうことに繋がりました。このような結果から、特産品部門の売上は前期を下回る結果でしたが、温泉、駐車場部門での売上が前期を上回る結果となり、総売上額は前期の105.5%に達するとともに、経常利益も前期と同様に黒字に転じたことは、会社として努力の賜物であると認識しています。

しかしながら、今後も世界的な物価高騰と景気の下振れにより、厳しい経営状況は続くものと考えられます。引き続き株主や地域の皆様の理解や協力を受けながら、北前館が竹野地域の交流人の核施設となるべく、取締役及び従業員全員が一丸となり、さらに努力されることを切に望みます。

令和5年10月16日

監査役 田中律也 

監査役 石田敦史 

株式会社 北前館
代表取締役 太田垣 健作 殿